

水辺の自然再生共同シンポジウム 次第

テーマ 豊かな自然を次世代へ - 希少魚復元と外来種対策

開催期日 2014 年 11 月 15 日 (土)

会 場 東京環境工科専門学校 教室 (2 階)

〒130-0022 東京都墨田区江東橋 3-3-7 (最寄りの駅: JR 錦糸町)

主 催 NPO 法人シナイモツゴ郷の会、旧品井沼周辺ため池群自然再生協議会
全国ブラックバス防除市民ネットワーク、ナマズのがっこう

趣旨説明 高橋清孝 (水辺の自然再生共同シンポジウム実行委員長) 5 分

第 1 部 10:10~12:30 座長 佐藤弘樹 (シナイモツゴ郷の会)

希少魚を守りゆたかな自然を子どもたちへ

(1) 田園の豊かな自然を守るために

- ・河野 通治 (環境省野生生物課) 水田に住むいきものの保全の取り組み 20 分
- ・二宮 景喜 (シナイモツゴ郷の会) 里親小学生が参加する地域ぐるみの取り組み 15 分
- ・菅井 博 (シナイモツゴ郷の米づくり手の会)
生き物ブランド米による地元住民の取り組み 15 分
- ・三塚 牧夫 (ナマズのがっこう) 集落で取り組んだバス退治と成果 15 分

(2) 都市近郊の豊かな自然を守るために

- ・北島 淳也 (東海タナゴ研究会): 都市住民も主体的に関わるタナゴの保全 15 分

(3) 地域の取り組み

- ・里帰りによるゼニタナゴの復元 長谷川 政智 (シナイモツゴ郷の会) 10 分
- ・タナゴ類の保全活動 萩原 富司 (土浦の自然を守る会) 10 分
- ・広島県産スイゲンゼニタナゴの保護活動について
; 古本 哲史 (スイゲンゼニタナゴを守る市民の会、広島県福山市) 10 分

(4) 自由討論 30 分

第 2 部 13:30~17:30

侵略的外来動物を防除してゆたかな自然を未来へ

進行 久保田龍二 (シナイモツゴ郷の会)

(1) アメリカザリガニの生態と生態系への影響

- ・川井 唯史 (ザリガニと身近な水辺を考える会): アメリカザリガニの生態 30 分
- ・西川 潮 (金沢大学): アメリカザリガニの侵入と陸水生態系の変化 30 分
- ・芦沢 淳 (宮城伊豆沼内沼環境保全財団): 生息実態と在来生物への影響 20 分
- ・西原 昇吾 (東京大学): 昆虫類への影響 20 分

(2) アメリカザリガニ防除の取り組み

- ・及川 ひろみ (宍塚の自然と歴史の会): 宍塚大池の実態と取り組み 10 分
- ・佐藤 方博 (生態工房): 生息数削減の取り組み 10 分
- ・高橋 清孝・芦沢淳・久保田龍二 (シナイモツゴ郷の会)
: トラップによる駆除技術の開発 20 分

(3) 総合討論 17:00~17:30 座長 小林 光 (ノーバスネット)

*終了後、情報交換会を開催します。18:30~20:30(予定)、おだいどこ はなれ 錦糸町店、会費 3,500 円